



今年の反省 来年の抱負 2017年 理事

総務広報委員会 委員長 浅野裕美 (有)古戦場商事 専務取締役

今年度私は、総務広報委員会委員長を務めさせていただきました。新年最初の例会、新年交賀会を当委員会が担当させていただき、経験の浅い私に阿部徹副理事長がしっかりサポートしていただき、また委員の少ない当委員会に菅原公正理事長を始めとする沢山のメンバーが協力していただき無事に開催する事ができました。「岩手ブロック大会in釜石」の自転車引継ぎは2日かけて一関から釜石までメンバー交代交代で自転車を運転し引継ぎました。しかしながら絶対にズルを認めない私に参加した事を一瞬でも後悔したメンバーもいるのではないのでしょうか。

また、「広報誌とびら」の〆切日には連載担当のメンバーの原稿が遅いことに少々いらだち、追い込んだりしましたが私の叱咤激励に耐え忍んでくださったメンバーのおかげで12ヵ月発行し今回のとびらで私の委員会としての発行は終了となります。

三年間という短い青年会議所活動ではありましたが、最後の一年が菅原公正理事長で阿部徹副理事長のもと活動できましたことに感謝致します。

私は今年で卒業となりますが、メンバーの皆様が40歳卒業という限りある時間の中で活動する苦労や葛藤を、メンバーと共有し一回りも二回りも心身共に成長しますよう祈念致します。

本当にありがとうございました！

会員拡大・会員開発委員会 会員開発委員長 熊谷勝弥 (有)グリーン総業 取締役

今年、会員開発委員長として2月例会と12月例会を担当させていただき、初めての委員長で分からないことが多く、様々な方々に支えられ事業を行えたと思っています。

日々の青年会議所活動と仕事とのスケジュールを調整していかに効率よく時間を作り出すか、事業を計画する際にいかに事業当日を明確にイメージできるかなど様々な学びを得ることができたと思います。次年度は岩手ブロックに委員長として出向予定なので、今年以上に多くのことを学び取れるように、頑張りたいと思います。

会員拡大・会員開発委員会 会員拡大委員長 千葉晴一 ソニー生命保険(株) ライフプランナー

平成29年度のJC活動もあつという間に終わりに近づく今日、1年の活動、行動を振り返ってみます。会員拡大委員長として当初掲げた目標が今年度10名の入会でした。今現在8名入会ということで、目標に対しては未達の状況ではありますが、私自身入会候補者に対して、一関青年会議所の活動、魅力を多くの人に伝えることはできたのかなと思っており、今年度入会に至らなかった候補者は、次年度の入会に結びつけばいいなと思っております。

また委員長として初めての3月例会事業も皆様の協力のもと成功することができ、自信につながるいい学びの場となりました。

来年も引き続きJC活動に微力ながら貢献していきたいと思っています。

事務局長 千葉太郎 明和土地(株) 取締役

本年、私は事務局長を務めさせていただきます。

事務局は縁の下でメンバーのサポートをするのが仕事だと思います。うまくできたところよりも、まだまだ改良できることの方が多いと思います。そこいら辺に関しては、次年度の事務局長が上手くやってもらえると思います。

至らない点も多かったと思いますが、色々助けていただいた佐々木専務と熊谷事務局次長には感謝があります。

次年度は、お堅いイメージの事務局から一転賑わう委員会になります。

今年培ったものを次年度でも生かせるよう頑張ります。

第62代理事長 菅原公正 公正司法事務所 司法書士

本年度は、「ガムシャラに！」をスローガンに1年間活動して参りました。総務広報委員会では、年間を通して対内情報誌「とびら」を発行することができました。また、SNSやHPでの積極的な情報発信により、東北青年フォーラムでは、公益社団法人白河青年会議所との交流会へ結びつけることができました。社会開発委員会では、一関夏まつり二代目時の太鼓大巡行を時の太鼓頭彰会様、炎舞会様のご協力により無事に成功させることができました。そして、一関の多くの青年団体が集う呑気塾では、継続的な事務局開催を行い今後の相互交流に繋げることができました。青少年育成委員会では、子供たちに登山をとおして郷土愛の醸成を図り、未来の一関を担う人材の育成を行いました。会員開発・会員拡大委員会では、積極的な入会促進と研修会を中心とした事業を中心に組織の活性化を図りました。どの委員会も「できない理由はない、できる方法を探そう、できる努力をしよう」の理念もと素晴らしい成果があったと確信しております。メンバーの皆様、1年間ありがとうございました。

直前理事長 足利哲也 (株)足利工業 代表取締役

JCに入って7年間あつという間に過ぎたような気がします。いろいろなことを経験し、様々な場へ連れて行ってもらい、多種多様な人たちに会った経験から一つだけ言えるのであれば、ちょっと頑張っって時間を作って出ていけば、多くの出会いがあったということです。何事も経験あるのみです。本業も大事ですが、そこでは得られない、人脈、知識、体験は出て行った人にしか与えられません。チャンスの女神には前髪しか無いと言われますが、後から行けばよかったと後悔しても遅いのです。皆さんには目の前のチャンスを逃すことのないようこれからのJCライフを頑張ってください。

副理事長 小野寺康 一関 八幡神社 宮司

先ずもって、青少年育成委員会、畠山委員長へ御協力をいただきました、青年会議所メンバー及びOB、そして、事業へ携わった多くの皆様へ感謝申し上げます。さて、2017年度、青少年育成委員会担当副理事長を仰せつかりました当初を思い返してみると、2015年度青少年育成委員会委員長を経験させていただきました経緯より、修練を重ねる機会は少ないであろうと思っておりました。

しかし、直ぐにその考えが誤っていたことに気付かされました。委員会の方向性を伝え、少し引いた立ち位置で、最終責任を負う覚悟をもって見守ること、そして畠山委員長の委員会運営から、仕事を委員会メンバーへ振ることの大切さや、そのフォローアップの為の、飲みにケーション等、多くのことをあらためて学ばせていただいた一年でございました。

以上、まだまだ至らぬ所もありますが、今年度の経験を活かし、引き続き次年度へ邁進する所存でございます。

副理事長 小山始彦 スナックふらり 店長

会員拡大 会員開発委員会 担当副理事長を務めました小山始彦です。

一年を振り返って、2月3月と例会事業を主管させていただいたわけですが、メンバーみんなのご協力があり、W初委員長ながら事業の成功、そして今年一年に勢いをつけた起爆剤になれたと感じております。会員拡大の成果としても8人の愉快的仲間達を加えることができました。熊谷勝弥委員長、千葉晴一委員長本当に一年間お疲れ様！この場を借りて感謝を申し上げます。ありがとう！